

「あすなろ」便り

No.94

2013. 10. 30

発行：あすなろ
TEL：046-254-2005



県央適応指導教室交流会



10月18日金曜日今年度2回目の適応指導教室のスポーツ交流会があり、の子ども達も参加しました。

参加するかしないか前日まで、はっきりあすなろしませんでしたが、なんと5人のあすなろっこが参加となりました。

これは、あすなろとしては画期的な事で、50人以上の集団の中で行動できるのはこの子ども達にとって勇気のいる事だったと思います。それに挑戦できたのは子ども達の心の成長の現れと言えます。そして競技は卓球・バドミントン・ソフトバレーということで、自分の好きな部門に参加し勝負としてはまあまあでしたが、結果に落ち込むことなく楽しんでいました。そして閉会の時夫々の教室の代表が前に出て、一言ずつコメントをしました。

我があすなろの子達はどうかしらと心配していましたが、一人の中学生が迷うことなく前に出て、堂々と挨拶をしました。これにはあすなろスタッフ一同感動！感涙！でした。いつものあすなろでの活動とは違う彼の姿を見ました。

そのコメントは次のような言葉だったと思います。

「僕は今日は午後から参加しました。ソフトバレーに参加しましたが、最初のうちはめっちゃめっちゃでしたが、だんだん声が出るようになりボールが繋がるようになり接戦となりました。みんなできて楽しかったです。皆さんお疲れ様でした」

また、当日参加したあすなろっこが、次のような感想文を寄せてくれました。

「私が出た種目はバドミントンとソフトバレーです。もともと運動が苦手でバドミントンは、残念な結果に終わってしまいました。でも、次にやったソフトバレーは、最初はみんなの動きもバラバラでみんなボールがとれなかったけれど2回目3回目になるにつれて、みんな声をかけ合ったり自分からボールをとりに行ったりしてみんなが変わっていくのが分かったのでとっても楽しかったです。」

卓球大会

10月29日(火)はあすなろ主催で卓球大会を開催しました。

この日は座間市適応指導教室つばさの皆さんと、あすなろの子ども達やスタッフの28名で卓球を楽しみました。

和気藹々の雰囲気の中試合が進んで、準決勝・決勝となった時雰囲気が一変して、ぴーんと張り詰めた試合となりました。つばさのI君とあすなろ卓球ボランティアとして来て頂いたKさんの試合は真剣勝負の素晴らしいゲームとなりました。接戦の末Kさんの勝利となりました。観戦していたつばさやあすなろの全員が息をのんで見つめ、その試合に酔いしれました。

試合後はまた皆さんでおしゃべりをして、和やかな雰囲気のまま終了となりました。このイベントでつばさの皆さんとの間がぐっと近づき親しくなれた事はとても嬉しいことでした。

